

市町村名		東村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章-3-(1)-(イ) 圏域の特性を生かした産業の振興	
担当部課名	企画観光課	事業実施年度	平成25 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村の主要観光施設である「東村村民の森つつじ園」のさらなる利便性向上のため、「東村村民の森基本計画」に基づき、園内施設の機能強化整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27～29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	193,019	12,657	66,418	66,838	338,932	
	B. 執行済額	191,229	12,657	66,418	64,302	334,606	
	うち 交付金充当額	152,981	10,126	51,734	51,441	266,282	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	100.0%	100.0%	96.2%	98.7%	
執行状況の説明	計画していた事業内容を実施し、順調に執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	東屋・倉庫等建築工事の実施	目標	建築工事(東屋)実施設計(倉庫等)	建築工事(倉庫等)			
		実績	建築工事(東屋)実施設計(倉庫等)	建築工事(倉庫等)			
	屋外ステージ建築工事の実施	目標			実施設計外構設計	建築工事	外構工事
		実績			実施設計外構設計	建築工事	外構工事
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	東屋・倉庫等建築工事の完了	目標	建築工事(東屋)実施設計(倉庫等)の完了	建築工事(倉庫等)の完了			
		実績	建築工事(東屋)実施設計(倉庫等)の完了	建築工事(倉庫等)の完了			
	屋外ステージ建築工事の完了	目標			屋外ステージ建築・外構設計の完了	屋外ステージの建築工事の完了	屋外ステージ外構工事の完了
		実績			屋外ステージ建築・外構設計の完了	屋外ステージの建築工事の完了	屋外ステージ外構工事の完了
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	年間利用者数		目標				118,000
			実績				60,448
			目標				
実績							
状況説明	<p>【令和3年度】 ・施設の利用者数は計画の50%程度となっており目標を下回っている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者の入場制限や集客を図る催しなどが制限された。また、緊急事態宣言等により宿泊施設等休業を行ったため事業効果が制限された。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R3年度】 ・沖縄県イベント等各種実施ガイドラインに基づき対応可能なイベントの実施と新型コロナウイルス感染症の終息期を見据えた取り組みを実施する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R4年度】 ・本施設は東村の観光交流の原点とされており、エコツーリズム体験や冒険教育施設など自然体験交流型観光の重要な役割を担い、周辺にはやんばる国立公園が広がっている。昨年7月には世界自然遺産に登録され、新型コロナウイルス感染症の終息期を見据え新たな体験型観光プログラムの拠点としての活用などを想定し商品開発についても推進する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							